

# 創造 おおいた

Oita Prefectural Organization  
for Industry Creation

～ともに未来に挑戦～  
公益財団法人 大分県産業創造機構

Creation Oita  
NO. **207**  
2018.7

## トップインタビュー

Top Interview

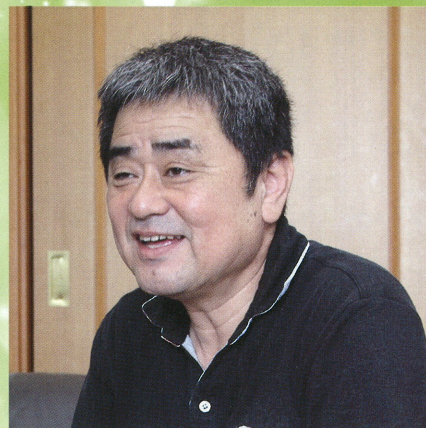
リマテック九州株式会社  
代表取締役社長 矢野 真一郎 氏



## 企業紹介

Company Profile

有限会社福田農園  
代表取締役 福田 実 氏

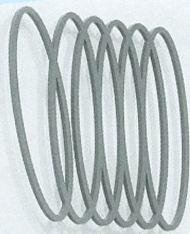


## わが社の人材活用対策

株式会社ワンチャー  
代表取締役社長 岡垣 太造 氏







# REMATEC



地域との共生を第一に、  
循環型社会の構築に貢献したい。

## リマテック九州株式会社

代表取締役社長 **矢野 真一郎** 氏

臼杵市野津町の豊かな自然環境の中に、先進の設備と技術を有する広大な工場を持つリマテック九州株式会社。産業廃棄物からセメント社向けの再生燃料「RF」を製造することで、CO2削減に貢献し、メンテナンス事業や環境再生事業にも取り組む。モノトーンで統一された社屋は、一步中に入ると、まるでカフェのようにおしゃれな空間。「クリーンな産廃屋さんをめざしたい」という矢野真一郎社長にお話を伺った。

### ■ 地域の人々に感謝し 地域との共存共栄を図る

——創業地は大阪だそうですね。

**矢野** 1974年に近畿環境興産株式会社として、大阪府岸和田市で産業廃棄物の処分と収集運搬業を始めました。創業者は漁師で、網元をしていたので、当時、大阪湾が汚れていたことを心配し、海洋汚染の原因である廃油や廃液を回収して再利用できないかと考えたのがスタートです。

——大分進出はどのようなきっかけですか。

**矢野** 九州工場RFプラントを建設するため、1988年に大分へ進出しました。産業廃棄物をセメント社向けの石炭代替燃料(RF)に再資源化する中間処理工場です。当時、岸和田でもセメント社とタイアップしていたことから、津久見

### やの しんいちろう 矢野 真一郎 氏

■ 略歴 1957年福岡県行橋市生まれ。小学生の時に両親の実家である大分市に転校。大分県立大分工業高等学校卒業後、新日本製鐵株式会社(現：新日鐵住金株式会社)大分製鐵所に入社。生産技術部門にて品質管理業務に従事する傍ら、全社試験分析部門の各種ワーキンググループ及び鉄鋼業界団体メンバーとして、課題解決と人材育成に取り組む。2013年2月に早期退職し、同年3月、当時のリマテック株式会社九州支社に入社。2016年4月より現職。



社屋と工場全景。緑の中におしゃれなモノトーンの建物が映える。



市にある現在の太平洋セメントさんにお声掛けいただき、工場内にプラントを建設しました。

翌1989年に大分県から企業誘致のお話をいただき、現在地の臼杵市野津町に中間処理工場を建設して、拠点を移しました。ここは工場の敷地だけで約1万㎡あり、津久見まで車で片道30分という立地も好条件でした。

その後、2010年にリマテック株式会社へ社名変更を行い、2014年1月に分社化してリマテック九州株式会社を創立しました。社名の語源でもある、技術(Technology)をコアに、地球資源である物質(Material)を無駄なく効率よく循環(Recycling)させることによって、持続可能な社会の構築に貢献できる企業をめざしています。

——地域との共生を大切にされています。

**矢野** 弊社は経営基本方針として、「すべてのステークホルダーの満足度を上げる」ことをうたっています。顧客だけでなく、地域、社員、株主にあたるリマテックホールディングス株式会社、すべてにきちんと対応していきたい。キーワードは「感謝・誠実・進化」です。

背景となっているのは、弊社が過去に大きな火災事故を2回起こしたことです。1回目は1997年7月、この時は死亡者が1名出ました。2回目は2013年12月で、私が入社して9ヶ月後のことでした。実は1回目の火災の時に、「もう一度火災事故を起こしたらこの地から撤退する」という地域の方々とのお約束があったにもかかわらず、皆様のご理解を得ることができ、この地で事業を継続させていただいています。そのことへの「感謝」を忘れず、地域との共生を第一に考えています。また食品廃棄物の不適切処理や不法投棄問題が話題に上がる中、何事にも「誠実」に対応し、環境問題を含め、時代の要求に応えるための「進化」を大切にしています。

## ■ 産業廃棄物や災害廃棄物から再生燃料「RF」を生み出す

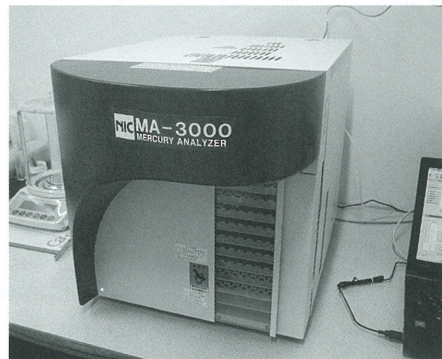
——事業の内容はどのようなものですか。

**矢野** 産業廃棄物処理、再資源化事業、設備メンテナンス事業、環境再生事業、環境にかかわるコンサルタントが、弊社の主な事業内容です。

メインは資源リサイクルに関わる業務で、ユーザーさんがお困りの廃棄物を回収し、弊社独自の技術で中間処理して、RF燃料として再資源化しています。これはほぼ100%セメント社に供給して利用され、燃えかすもセメント原料となるため、埋め立てや焼却などの最終処分を伴わない、環境にやさしいリサイクルシステムです。



セーフティブロックの建設。安全対策は最重要事項だ。



搬入した産業廃棄物は、分析装置を用いて入念な性状確認を行う。

——RFは御社の特許技術なんですね。

**矢野** RF (Reclaiming Fuel) は弊社の特許専売品です。特性をひとことで言うと、マヨネーズやケチャップみたいなもので、容器の中に置いている状態では分離しないが、圧力をかけるとドロッと流れ出る。いわゆるチキソトロピー性を持った、水と油と粉体の混合物質。ボイラーに燃料として供給する際、取扱いがラクなのも長所です。このRFを作る技術が弊社の特許で、全国でもリマテックグループの大分と大阪の2箇所だけで作っています。

RFは、廃油や廃アルカリなど液体状の物から、汚泥などの固形状の物、燃えかすなど粉状の物まで、幅広い廃棄物が原料になります。そのためお取引先も幅広く、半導体メーカーや化学プラント、製鉄関係など、レギュラーの7割が大手メーカー系列の企業さんです。

現在、年間約35,000トンの産業廃棄物が弊社に持ち込まれます。企業内3R活動などにより全体的には減少傾向ですが、反面、処理が難しい廃棄物の処分依頼が増え、高度な処理技術を要するものが増えてきました。

——メンテナンスや環境再生事業としては、どんな仕事をされているのでしょうか。

**矢野** 環境再生事業では、熊本の震災をはじめ、災害の復興事業に数多く参画しています。直近では今年の津久見の水害。弊社が災害復興事業の統括管理の実務を任せられ、約5カ月にわたって、がれきや土砂など合計14,000トン余りの災害廃棄物を分別破碎処理し、セメント原料として太平洋セメント(株)大分工場に供給しました。

メンテナンス事業としては、お取引先の大型貯蔵タンクやプラント配管の洗浄などを請け負っており、作業後の廃棄物を弊社に持ち帰って処理するワンストップサービスにも力を入れています。一括契約で安心な上、自社の廃棄物を有効活用でき、環境保護への取り組みにもなるということで、弊社にご指名いただくことが多いです。

——商圏はどの範囲ですか。

**矢野** 九州は沖縄を除く全県、四国は愛媛県、中国地方は広島県、山口県が産廃取引エリアです。処理の許可を受けているのは大分県のみなので、すべて自社工場に搬入してこ



の地で処理をしています。メンテナンス事業に関しては、作業依頼があれば日本全国各地にでも出向いて対応しており、近畿東海からの依頼などもあります。

## ■ 社員が誇れる 「クリーンな産廃屋さん」をめざす

——事業展開に加えて、現在取り組まれているのはどんなことですか。

**矢野** ここは農村地域なので、地域の夏祭りに協賛して焼肉コーナーを出したり、周辺の国道清掃ボランティアに参加したり、地区の環境対策協議会を弊社で開催するなど、地域活性化のための支援活動に力を入れています。

また、大分県エネルギー産業企業会の水素ワーキンググループに所属させていただき、只今勉強中です。弊社の中間処理過程で発生するガスから水素を取り出し、それを例えば地域の野菜栽培などのエネルギーとして有効活用できないか、といったことを考えています。

——今後の展望についてお聞かせください。

**矢野** 業界におけるブルーオーシャンを開拓するため、同業者との差別化を目指しています。その一つとして、いち早くISOに着目し、取得に取り組んできました。ISO14001（環境マネジメントシステム）は2000年に取得し、2016年に最新の2015年版に更新を終えています。OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）は、最新のISO45001-2018年度版を今年5月に取得しました。これらは会社の体質強化や社員の意識・知識の向上、顧客の信頼度向上に大きく役立っており、今後も経営ツールの一つとして活用していきたいと思っています。

また、人が資本の中小企業として、魅力ある会社づくりに力を入れたいと、労働時間短縮など各種施策を試みています。社員にはチャンスや平等を与えて平等に評価することで、みんな一生懸命働いて成果を出そうとしてくれます。

産廃業者というのはどうしてもダークなイメージが



市内「ふれあい共生の森」の委託管理を請け負い、地域の環境づくりに貢献



異業種交流会による工場見学。

ありますが、弊社は「クリーンな産廃屋さん」をめざしたい。新社屋の建設に際しては、明るいイメージにするため外光を取り入れ、内装やインテリア、会議テーブルや椅子、カップなどの備品まで、デザインにこだわりました。いいものは社員も大切にしてくれるし、社員が自分の会社を誇れることで、働きがいにもつながります。団体から希望があれば見学会も行っています。

——最後に中小企業や県民へのメッセージをお願いします。

**矢野** 全国的に労働人口が減少する中、国内での中小企業の法人割合は99%、労働人口では約7割を占めています。外国人労働者採用などの動きが活発化していますが、私たちは地元の方々に一緒に働いていただきたい。中小企業の皆さんには、もっと自分たちの魅力を発信して地元で働ける環境を作っていくこと、県民の皆さんには地元企業への興味と支援をお願いしたいと思います。中小企業がネットワークを広げ、技術も人も地元で育てていければ、県の経済活性化につながっていくと思います。

## ■ 企業データ

- 会社名 リマテック九州株式会社
- 代表者 代表取締役社長 矢野 真一郎
- 設立 2014年4月
- 資本金 5,000万円
- 社員数 62名
- 事業内容 産業廃棄物処理、再資源化事業、設備メンテナンス及び清掃、環境再生事業など
- 所在地  
本社：臼杵市野津町大字都原字上坪906番地  
TEL 0974-32-7721（代表）  
津久見事業所：津久見市合ノ元町2-1  
（太平洋セメント(株)大分工場内）  
TEL 0972-82-9055（代表）
- U R L <http://rematec-kyushu.com>